



伝わりやすい発表スライドの作り方

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。大学では、授業や実習をはじめ、学会発表や就職活動など、自分の学びや研究内容を人前で発表する機会が数多くあります。このコラムでは、そのような場面で役立つ発表スライドの作成についてご紹介します。

■ フォント

- ・ 日本語：游ゴシック・メイリオなど
- ・ 英語：Arial・Calibri（生物の学名などイタリックの場合はTimes New Romanがおすすめ）
- * 最近では、判読性の高い「UD デジタル 教科書体（このコラム）」もよく使われている

■ 文字サイズ

- ・ タイトルは32pt以上、本文は20～24pt（図表内の文字も18pt以上がおすすめ）

■ 文字の強調

- ・ 重要なポイントは「**太字+色**」や「**太字+下線**」、**太字+図形**などで統一する
- ・ 強調しすぎると逆効果になるため、1スライド3色以内が目安

■ スライドの構成

- ・ 1枚のスライドに文字や情報を詰め込みすぎない
- * 「1スライド＝1メッセージ」が基本
- ・ 説明は階層的に整理すると伝わりやすい
 - 大項目：スライドのタイトル（＝そのスライドの中心メッセージ）
 - 中項目：箇条書きや図表の見出しなど
 - 小項目：図表や結果の具体的な説明

Point：図表はできるだけ大きく配置し、重要なポイントのみを文章で示すのが効果的。
詳細な説明は口頭で補足し、「読ませる」ことよりも「伝える」ことを意識する！

■ 発表の流れ（学会などでの研究発表の例）

- ・ **タイトル**：発表の全体像を簡潔に示す
- * 内容が多い場合は目次スライドを加えるのもおすすめ
- ・ **背景と目的**：先行研究に基づく本研究の位置づけ、研究目的・仮説を述べる
- ・ **方法**：研究材料（対象）、調査地、実験手法、解析方法を示す
- ・ **結果**：研究で得られた結果を図表を中心に説明する
- ・ **考察**：結果を仮説や先行研究と関連づけて、「何が言えるのか？」を論理的に整理する
- ・ **結論**：研究の要点をまとめ、今後の展望にも触れる

（理工学研究科 DI）